

年頭のごあいさつ



志木市議会 議長 今村 弘志

新年あけましておめでとうございます。市議会を代表いたしまして、年頭のごあいさつを申し上げます。市民の皆様におかれましては、新春を晴々しいお気持ちでお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、平素より市議会に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から御礼を申し上げます。私は昨年4月に第32代議長に就任し、市議会と執行部との調整役と監査役として、市議会の公平・円滑な運営に努めてまいりました。

さて、昨年を振り返りますと1月に発生した能登半島地震をはじめ、台風や豪雨による深刻な被害など自然の脅威を感じるとともに日頃の備えの重要性を実感させられた1年でもありました。改めて被害に遭われました皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。このような中、激甚化する自然災害への備えから本市では志木市議会BCP（業務継続計画）を策定し、市内で大規模災害が発生した場合や発生の際のある時には市災害対策本部と連携を図り、議会として迅速かつ適切な活動ができるよう、今後とも安全安心に向けて着実に進めてまいります。

一方で、パリで開催されましたオリンピッククにおいては、日本人選手の獲得した金メダル・メダル総数ともに海外開催において、最多更新する大活躍をみせ、多くの皆様に大きな感動を届け、次のオリンピックでの期待を膨らませたところであります。本市は、令和7年に市制施行55周年を迎え、花火大会や親水公園を舞台に「光と音楽のイベント」などの記念事業が予定されており、市議会といたしましても賑わいづくりの一端を担えるよう協力してまいります。

ます。

また、市議会では完全ペーパーレス化をはじめとした議会改革を進めるとともに効率的な議会運営に努め、今後も市民の皆様が暮らしやすいまちづくりを目指して全力で取り組んでまいります。目の前の問題だけにとらわれず、将来を見据えた課題にいかにより早く取り組んでいくかが重要であると考えております。人口減少社会への対応、将来を担う人材育成、長引く物価高騰への対策など、長期的な観点に立つて取り組むべき課題は山積しております。志木市の未来に向け着実に歩みを進めてまいりますので、皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新年が志木市にとりまして、明るく希望に満ちた年となることを祈念するとともに、市民の皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます、年頭のごあいさついたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

